

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

有限会社アウルメディカルサービス

②施設・事業所情報

名称： のぞみ		種別：就労継続支援A型	
代表者氏名：松崎 雄二		定員（利用人数）： 20 （23） 名	
所在地：岡山県総社市井手1004-2			
TEL：0866 31-7158		ホームページ：https://nozomi-okayama.org/	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日 平成 23 年 12 月 1 日			
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人 のぞみ			
職員数	常勤職員： 11 名		非常勤職員： 0 名
専門職員	管理者 1 名		（生活支援員） 1 名（常勤換算）
	サービス管理責任者 1 名		管理栄養士 0 名
	（医師：嘱託） 0 名、（看護師） 0 名		
施設・設備の概要	居室0室 （個室0室・2人部屋0室・4人部屋0室）		

③理念・基本方針

地域を愛する特定非営利活動法人のぞみは ひとりひとりの豊かな生活の実現をめざします

④施設・事業所の特徴的な取組

・総社社市の千五百人雇用センター・ハローワーク総社と連携を取りながら、障がい者の就労支援に取り組んでいる。
・訓練作業種目の複数設定し、施設外就労3か所、室内作業パン・クッキー製造2種目と、利用者のニーズの多様化に対応している。
・地域のイベントに出張販売にでかけ、地元の親しでもらえる活動を展開している。
(岡山県立大学学生会館にて販売・高粱パンマルシェ・ハートフル総社など)

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 6 年 2 月 1 6 日 (契約日) ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	1 回 (令和 年度)

⑥総評

◇特に評価が高い点

利用者が就労に向け毎日の作業をやりがいを持って行えるように、利用者の希望も考慮しながら特性を活かした部署に適材適所に配置している。自動車部品加工や市役所の環境課の受付など、事業所内の他部署に移動が可能で、共同意識をもって、複数の作業ができる体制となっている。手話やホワイトボードを使ったり、要点を絞って説明する等の工夫を行う等、利用者の立場に立った対応は、利用者の安心となり職場定着に繋がっている。年間2～3名の一般就労の実績があり、就労後もSNSを通じたり、直接事業所に利用者が尋ねて来るなどの交流があることから、元利用者にとっての心の拠り所となっていることが伺われる。職員がスポーツ大会に利用者と共に練習をして参加したり、新規販路拡大に向け取り組んだり、作業だけでなくあらゆる面で支援する姿勢が、利用者とのより良い関係を作り信頼を生んでいると言える。

◇改善が求められる点

事業所の基本方針である理念に関して、唱和するだけでなく職員の意識に浸透し、利用者に対しての対応に反映されるように更に検討工夫することを期待します。単年度の事業計画はされていますが、中期長期的なビジョンが明確化されていなく、事業向上に繋がるよう策定されると良いと思います。それにより、事業所内の体制の構築が整い、職員の質の向上が図られるのではないのでしょうか。職員は研修や勉強会に参加しているものの、専門性を持った職員の定着が不足している現状があり、事業所全体として人材育成に具体的に取り組む体制を作ることが望まれます。管理者の方に、これらのことに関して具体的なご意見をお聞きできればと思います。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

日々の利用者の方々と職員とのより良い関係作りが基礎になり、地域の皆様に信頼される製品作りに取り組んでいることが今回評価されたことを嬉しく思います。法人の理念の実現のために、今後は中期ビジョンを明確化し、職員全員で共通認識を持ち、更なる取り組みが利用者の「豊かな生活の実現」につながると思います。また、職員の支援力の向上のために障害者支援の研修に参加したり、支援会議で勉強会を持つなどして取り組んでいきたいと思っています。

⑧第三者評価結果 (別紙)

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
Ⅰ-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ b ・c
<コメント> 理念は事務所やパン製造作業所に掲示している。サービス管理者は、聴覚障害の方にもわかりやすいように手話を交えて伝えている。職員や利用者と一緒に理念を唱和して浸透させれるように工夫している。理念は利用者にもわかりやすいように、ふりがなをつけている。また、利用者向けのパンフレットにも理念を記載している。		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅰ-2-(1)-①	事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a ・b・c
<コメント> 事業所内の支援会議や法人全体の会議で、現状確認を行っている。管理者会議の内容は議事録を通して、職員へ報告している。昨年の12月に市の福祉計画の事前打ち合わせ会に参加して、A型事業所の動向について確認できた。		
Ⅰ-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a ・b・c
<コメント> コロナ以後、施設外就労先が減ったが、他の新規事業を開拓できた。少しずつではあるが無理のないように、作業収入増に向かって取り組んでいる。内容は支援会議や管理者会議にて職員に伝えている。1ヶ月の売り上げは各作業所で把握している。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<コメント> 中・長期計画は作成していないが、単年計画は策定している。単年計画は半年毎に見直し、軌道修正を行っている。		
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<コメント> 上記に同じ		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<コメント> 課題として、新たな施設外就労を探した結果、今年度の2月から稼働に繋がった。支援会議にて職員間で情報の共有もしている。		
I-3-(2)-②	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<コメント> 計画に変更があった際には、利用者へは、朝礼や個人連絡にて伝えるようにしている。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・(b)・c
<コメント> 本日の作業を中心に進捗状況を確認して、次の作業計画を立てている。支援会議や各作業場でのミーティングにて、意見交換を行い、職員全員で共有している。	
I-4-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・(b)・c
<コメント> 利用者にも理解して頂けるように丁寧に説明をして、支援会議録にて記録している。利用者が安心して働きやすいように、段差をつけて転びにくいように工夫した。作業効率を考えて作業した結果、100個しか作れなかったものが140個作れるようになり、効率が上がった。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	(a)・b・c
<コメント> 法人パンフレットやホームページにて情報を発信している。何かあればその都度、職員に伝えるようにしている。	
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	(a)・b・c
<コメント> 権利擁護や虐待防止、身体拘束の研修に参加して、法令遵守に努めている。朝礼や支援会議、ファイルを職員間で回覧して、情報共有をしている。	

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		○a・b・c
<コメント> 県や市から送られてくる最新の情報はできるだけ、早い段階に職員に周知するようにしている。直近では、介護報酬改定の情報があり、朝礼で職員に伝えた。利用者の障害特性に合わせて、30分程度の勉強会を開催して、学びを深めている。		
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		○a・b・c
<コメント> 管理者やサービス管理責任者は、何かあれば現場で作業と一緒にしている。その際に、利用者の様子を把握して、アセスメントに繋げている。職員や利用者とは積極的にコミュニケーションを取り、業務がスムーズに遂行できるようにしている。また、馴れ合いにならないように言葉遣いにも注意している。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		a・○b・c
<コメント> 無資格で入職する職員へは、管理者やサービス管理責任者が1から丁寧に教えている。生活支援員研修の受講や必要に応じてサービス管理責任者の資格を受けている。		
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。		a・○b・c
<コメント> 年2回の人事考課により、職員の評価を行っている。必要に応じて、研修や勉強会への参加を促している。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。		a・○b・c
<コメント> 家庭事情に配慮したり、有給休暇が取りやすいよう考慮し、希望休の反映にも繋がっている。ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。職員の健康チェックも毎朝実施していて、体温と家族の健康状態の確認も行っている。		

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 各事業所の作業班別での年間、月間、その日の目標を掲げている。現在は、パート職員の方が正職員になれるように配慮している。何かあればミーティングにて話し合う機会を設けている。		
Ⅱ-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・(b)・c
<コメント> 権利擁護や虐待防止、身体拘束の研修に参加して法令遵守に努めている。利用者の障害特性に合わせて、30分程度の勉強会を開催して、学びを深めている。聴覚障害者の方へは、より内容が伝わりやすいように、手話の勉強も行っている。		
Ⅱ-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・(b)・c
<コメント> 無資格で入職する職員へは、管理者やサービス管理責任者が1から丁寧に教えている。年1～2回以上、食品衛生、賃金向上、虐待・身体拘束、生活支援、発達支援のカリキュラムの研修を受けている。		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・(c)
<コメント> コロナ以前は、総社市にある大学のインターンシップを受け入れていた。今回、依頼を受けたので来年度より、受け入れを再開するように企画中である。		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ b ・c
<コメント> ホームページやパンフレット、SNSを活用して情報発信をしている。利用者の雇用募集や面接会、見学に来た際に、リーフレットを配布して事業所の様子を伝えている。内部では、管理者会議や支援会議にて報告をしている。	
Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ b ・c
<コメント> 透明性の高い適正な経営や運営ができるように、何かあれば、管理者会議や支援会議にて報告をして情報共有をしている。	

Ⅱ-4 地域との交流と連携・地域貢献

	第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a ・b・c
<コメント> 総社市(民生委員、福祉委員)・社会福祉協議会やみんなでつくる財団おかやま(公益財団法人)と連携をしている。職員と利用者が吉備路マラソンで走ったり、清掃美化ボランティアへ参加したりした。週1回、大学内の食堂カフェでパンの販売も行っていて、地域に溶け込んだ施設となっている。	
Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ・b・c
<コメント> コロナ以前は、総社市にある大学のインターンシップの受け入れや作業を手伝う学生ボランティアの参加があった。今回、依頼を受けたので来年度より、インターンシップの受け入れを再開するように企画中である。見学は随時可能としている。	

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		○a・b・c
<コメント> 総社市日中活動連絡会(就労の部)へ参加し、マルシェや新しい就労種目勉強会、農福連携の作業や研修の企画もして頂けた。総社市社会福祉協議会と連携を取り、ハートフル総社のイベントには、販売部門で参加し、サービス管理責任者が実行委員も兼ねているので情報が集まってくる。親子ふれあいイベントとして、チュピーパン(親子パン)教室を開催し、好評を博している。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。		○a・b・c
<コメント> 上記に同じ		
Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。		○a・b・c
<コメント> 上記に同じ		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。		a・○b・c
<コメント> 総社市の虐待防止研修会に参加している。		
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。		a・○b・c
<コメント> 相談事業所・ハローワーク・千五百人雇用センター・学校・病院などと連携して情報を共有している。資料の管理や電話連絡の際にも、周りに人がいないかを確認してから話をするようにしている。着替えのスペースは、男女の時間差を設けている。		

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・(b)・c
<コメント> 本人のニーズに合わせたサービスが受けられるように情報提供をしている。支援学校の見学や体験実習も受け入れている。ハローワークや面接会にて情報を提供した結果、年間12～13人の体験に結びついた。利用者の特性に合わせて、ひらがな表記、手話や筆談にて行っている。		
Ⅲ-1-(2)-②	福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等にわかりやすく説明している。	a・(b)・c
<コメント> 本人や家族の理解度に応じて、説明を仕方を工夫している。ひらがな表記、手話や筆談にて行い、利用者の特性に合わせている。		
Ⅲ-1-(2)-③	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等に当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 担当した職員やサービス管理責任者が窓口となり、説明をしている。施設での出来事を把握した上で、その方に合わせた相談窓口を提供している。定着支援終了後も、企業に出向いて様子を確認して連携を図っている。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 年6回、サービス管理責任者が個人面談を実施している。何かあれば随時話し合いの場を設けている。事務所や作業所には、意見箱を設置している。全体に周知できる内容であれば、ホワイトボードに記載して情報共有を行っている。モニタリングの見直し時期に、ステップアップを提案している。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・(b)・c
<コメント> 事務所や作業所に意見箱を設置している。利用者の特性を考慮した上で、話し合いの場を設けて解決するように取り組んでいる。		

Ⅲ-1-(4)-②	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・ (b) ・c
<コメント> 適宜、個人面談を行っている。現在2名の利用者には連絡ノートを渡して、家族にもわかるように記入している。相談室の活用や事務所で話せる場を設けている。		
Ⅲ-1-(4)-③	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ (b) ・c
<コメント> 現場の職員への相談することが多く、相談内容は、管理者やサービス管理責任者やと共有して、迅速に対応できるようにしている。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ (b) ・c
<コメント> 自閉症の方が避難訓練中に、交通事故にあいかけたので、必ず職員と一緒に避難するようにして安全の確保に努めている。鉄の渡し方やミシンの使い方については、最初に丁寧に説明をしたことで、安心安全な使用に繋がっている。		
Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ (b) ・c
<コメント> 食中毒・コロナ感染がおこらないように、安全対策として健康チェックや検温の記録を毎日している。食品衛生管理者を中心に感染予防や対策を行っている。入室時に粘着クリーナー、消毒や帽子の着用、靴の履き替えを行っている。また、作業場所は二重扉にしている。		
Ⅲ-1-(5)-③	災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ (b) ・c
<コメント> 総社市の危機管理室からの情報をチェックして、職員や利用者に知らせている。総社市の危機管理士からも備蓄についてのリスト頂き、準備できていない物については、配布して頂ける場合もある。BCP対策も災害対策の一部として考えている。		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。		○a・b・c
<コメント> 重要事項説明書にて明記していて、入職時に説明をしている。サービスの種類として、相談及び援助、訓練、生産活動、実習及び求職活動の支援、事業所外支援、健康管理があり、わかりやすいように丁寧に説明している。		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		○a・b・c
<コメント> 個別支援計画の内容はケースバイケースで見直している。見直した内容はミーティングにて確認している。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントに基づく個別支援計画を適切に策定している。		○a・b・c
<コメント> 総合的支援計画のために、詳しくアセスメントを実施するようにしている。困難なケースの場合には、相談員を交えて解決できるように取り組んでいる。アセスメントは入職時や就労前にも見直している。外部からの計画相談員を交えて、モニタリングを実施している。		
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。		○a・b・c
<コメント> 基本は6ヶ月としているが、場合によっては、短期間で見直すケースもある。何かあれば随時見直しを行っている。アセスメントは入職時や就労前にも見直している。外部からの計画相談員を交えて、モニタリングを実施している。		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。		○a・b・c
<コメント> 毎日出勤時に、健康状態を確認している。作業種目や作業評価を実施して、個人記録の特記欄に残すようにしている。作業場を点々とされる方へは、何かあった際に、わかるように記入している。内容は週単位でまとめるようにしている。		

Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	○a・b・c
<コメント> 事務所内の鍵のついたロッカーにて保管し、管理者が責任者となっている。SNS記載時には、本人や家族への了解を得ている。隔年で、情報管理研修にも参加して、学びを深めている。	

評価対象Ⅳ 具体的なサービス内容

Ⅳ-1 利用者の尊重と権利擁護

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 自己決定の尊重	
Ⅳ-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	○a・b・c
<コメント> アセスメント、個人面談、家族からの話を参考にし、計画相談員のモニタリングに同席して個人のニーズを把握するようにしている。岡山県障害者スポーツ大会の案内が来た際には、陸上競技に参加した。また、吉備路マラソンへの参加にも繋がった。	
Ⅳ-1-(2) 権利侵害の防止等	
Ⅳ-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	○a・b・c
<コメント> 本人の意思決定が難しい場合には、総社市の権利擁護センターと連携を取っている。金銭管理が難しい方への対応として、聞き取りをした上で、本人を交えて権利擁護センターの職員と話し合い解決に至った。緊急をやむえない身体拘束については、入職時に同意書を交わしている。	

Ⅳ-2 生活支援

	第三者評価結果
Ⅳ-2-(1) 支援の基本	
Ⅳ-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	○a・b・c
<コメント> 個人のニーズに合った支援に努めている。自力通勤をしている聴覚障害の方の対応として、天候が悪い日には、職員が送迎して安心安全な移動を支援している。何かある場合には、家族の許可を得ている。	

IV-2-(1)-②	利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	○a・b・c
<コメント> 個人の理解度を把握した上で支援をしている。コミュニケーションが難しい場合には、要点だけを説明したり、禁止事項や危険な行為を伝えるようにして理解して頂いている。写真を活用して、視覚に訴えるように工夫している。		
IV-2-(1)-③	利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	○a・b・c
<コメント> 日頃から気軽に相談しやすい人間関係作りに努め、コミュニケーションを大切にしている。利用者のライフスタイルに合わせて、休憩中は職員と一緒に食事を摂ったり、個室で食べたりしている。		
IV-2-(1)-④	個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	○a・b・c
<コメント> 就労支援の観点のみだけでなく、生活面を把握して、計画相談員と連携して支援を組み立てている。毎日の積み重ねを大切にして、更に良くなってほしいとの思いを込めて、注意すべきところは、本人に知らせるようにしている。		
IV-2-(1)-⑤	利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	○a・b・c
<コメント> 日々の観察や何か変化があれば、対応できるように努めている。		
IV-2-(2) 日常的な生活支援		
IV-2-(2)-①	個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 非該当		

IV-2-(3) 生活環境		
IV-1-(3)-①	利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	○a・b・c
<コメント> 生活環境整備や安全点検を実施している。		
IV-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
IV-2-(4)-①	利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	○a・b・c
<コメント> 事業所内では、作業訓練を通じて、機能訓練や生活訓練に繋げている。		
IV-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
IV-2-(5)-①	利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	○a・b・c
<コメント> 毎日の朝礼にて、健康チェックを実施している。検温や家族の健康状態の把握ができています。		
IV-1-(5)-②	医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	○a・b・c
<コメント> 投薬状況の把握をしている。必要に応じて、おくすり手帳のコピーを取っている。何かある場合には医師と相談することもある。		
IV-2-(6) 社会参加、学習支援		
IV-2-(6)-①	利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	○a・b・c
<コメント> 企業見学や面接研修会、障がい者面接会に参加している。吉備路マラソン、岡山県障害者スポーツ大会への参加に繋がった。運転免許を取得された利用者もいる。		

IV-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
	IV-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 非該当		
IV-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
	IV-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 家庭生活で何か困ったことがあれば、随時相談するようにしている。計画相談員と連携して、受けられる支援やサービスがある場合には、電話や訪問して情報を伝えている。		

IV-3 発達支援

		第三者評価結果
IV-3-(1) 発達支援		
	IV-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 非該当		

IV-4 就労支援

		第三者評価結果
IV-4-(1) 就労支援		
IV-4-(1)-①	利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	○a・b・c
<コメント> 個人面談で意向を確認し、個人面談ファイルや個人記録に記載している。製造に関する仕事の方は、販売を経験して頂き、学びを深めている。施設外就労の方も参加できるように配慮している。就労された方の様子を、利用者が見学に行くこともあり、同僚の活躍が励みとなった。		
IV-4-(1)-②	利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	○a・b・c
<コメント> 作業習得状況、モチベーションの維持状況、利用者・職員の人間関係を把握し、配置を変える場合もある。利用者の特性に考慮して、仕切りや壁方向を向いたり、耳栓を使用したりするように工夫している。指導員やサービス管理責任者が様子を確認し、本人からの要望により環境を変えたりしている。個数計算を時給計算へ変更したり、作業がマンネリ化しないように工夫している。		
IV-4-(1)-③	職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	○a・b・c
<コメント> 企業見学・倉敷・総社の面接研修会・障がい者面接会に参加している。岡山県の販路拡大説明会に参加して情報共有をしている。総社市障がい者千五百人雇用の面接練習に参加した。履歴書の書き方については、サービス管理責任者が確認している。書くのが難しい方へは、口頭で聞き取りパソコン入力を行っている。平均すると年間に2～3名の方の就労に繋がっている。		